

## 寒さに負けない心と身体を 空手の寒稽古

**1/3** 伊佐津川河川敷で「寒稽古」が行われ、3歳～50歳代の約50人が「押忍」と拳を突き出しました。寒稽古は、実践空手道拳悠会の門下生が、武道の上達を願って毎年行っている新春の恒例行事。参加者は市内を走って体を温めた後、雪上の河川敷で指導員の掛け声に合わせて突きや蹴りなどの基本動作と型、組み手に熱心に取り組み、気合いの入った声を響かせていました。



## 夢はオリンピック バレーボール女子日本代表 井上愛里沙さんが「夢講演会」

**1/13** 青葉中学校で全生徒を対象に「夢講演会」が実施されました。講師は、舞鶴市出身でバレーボール女子日本代表選手の井上愛里沙さん（19歳、筑波大学1年）。「夢を求めて」を演題に、バレーボール選手として東京オリンピックに出たいと目標を語りました。井上さんは、自身の挫折した経験も披露し、夢と目標を持って生きることの大切さや自分の可能性を信じてあきらめない心を培ってほしいと訴えました。この講演会は、中学生に自分の将来について考え、目標とそれに向かって努力することの意義を学んでもらおうと市教育委員会と青葉中学校が企画したものです。



## 安全誓い一斉放水 消防出初式

**1/11** 消防出初式を実施。市民会館で行われた式典では、市内の各消防団や婦人消防隊、東西少年消防クラブなど消防関係者約1,000人が参加し地域防災・防火への誓いを新たにしました。その後、市民の見学者約1,300人が見守る中、海上自衛隊舞鶴音楽隊を先頭にマナイ～平野屋通で分列行進を実施。また、伊佐津川河口では、消防車両32台と舞鶴海上保安部の巡視艇「あおい」と「ゆらかぜ」が火災ゼロを目指して一斉放水しました。



①伊佐津川河口で一斉放水 ②市民会館で行われた式典の様子  
③海上自衛隊舞鶴音楽隊を先頭に分列行進  
④少年消防クラブ ⑤消防団員  
⑥消防車両



## 字の上達を願って どんど焼き

**1/16** 伝統行事「どんど焼き」が中舞鶴小学校で行われ全校児童307人が参加しました。どんど焼きは各地で小正月の1月15日に行われる伝統行事。児童会の代表が「この行事の起源は、1,200年にさかのぼり、燃やしているときに『どんど、どんど』と音がするので『どんど焼き』と言われるようになった」などの由来を説明。その後、やぐらには各家庭から持ち寄った正月飾りやしめ縄が積み、児童会長の小宮山龍太君が点火。燃え上がったところに児童たちの書初めもかざし、字の上達などを願いました。灰は無病息災を願って児童たちが家庭に持ち帰りました。また、1月21日には志楽小学校でも行われました。



## 児童真剣 こんにゃく作り

**1/17** 三笠小学校でこんにゃく作りに挑戦する体験活動が行われました。学校裏の畑で三笠地域子育て支援協議会が栽培したこんにゃく芋を収穫して調理するもので今年で2回目。この日、同校の全学年から12人が参加。子供たちは、切って蒸されたイモをミキサーにかけたりこねて混ぜ合わせたり、こんにゃく作りを楽しみました。

